

10. 液中ポンプの分解および再組立 #D170 (5)

ペーパーロック装置の取り付け

- ポンプハウジングを作業台に直立させる。
- ポンプハウジングの上に平坦Pリングを置き、その上にペーパーロックリングを上下逆様に置く。
- インペラーのシャフト側にVリングを置く。このとき、(Vリングのフラップがモーター側を向いて組み付けられるように)組み付け位置に注意する。

注意

ポンプの正しい回転方向を確かめてから、ポンプを処理液中に再設置してください(手順7の設置を参照!!!)。

10. 液中ポンプの分解および再組立 #D201/D241 (1)

モーターファンカバー

- 4個の固定用ネジを外すか又はファンカバーを持ち上げて外す。

冷却ファン

- 止めピン(存在する場合)を取り外す。
- ファン羽根を(2本のねじ回しを使って)慎重に緩める。

インペラー

- 渦形室の端へのアクセスが容易になる水平姿勢にポンプを保持するようにポンプ取付板を万力に固定する。
- 渦形室カバーを半径キーで緩めて外す(時計回り)。
冷却ファンスタブシャフトを利用してポンプを垂直に万力に固定する。このとき、スタブシャフトを傷めないように注意してください。
- インペラーをインペラーキーで緩めて外す(反時計回り)。その後、インペラーおよび保護チューブから保護板を緩めて外し、インペラーを取り外す。

ポンプ本体の取り外し

- ポンプ取付板にモーターを固定している8組のナットと座金(部品16)を取り外す。
- 慎重にポンプ本体を持ち上げて外す。



モーターとポンプ本体は、必ず元通りの構成に再組立する必要があります。従って、分解をさらに進める前に、モーター部品を適宜標付けして、後で元通りの位置に再組立できるようにしてください。

注意

モーター軸受けの交換(注意、全頁参照)

- ファンカバーとファンを取り外したモーターを垂直に万力に取り付け、冷却ファンスタブシャフトで万力に固定する。冷却ファンスタブシャフトを傷めないように注意してください。
- 4本のボルトをアーレンキーで緩めて外す。
- モーターを万力から外して、作業台上に載せ、モーター取付フランジをプラスチックハンマーで慎重に叩いて塗料シールを剥く。
- 注意して、モーターシャフト(ファン側)をプラスチックハンマーで叩いて、シャフトとモーター取付フランジをともにステーターから緩めて外す。
- ゴムシール(横モーター取付フランジ)をシャフトから慎重に取り外す。
- 圧搾機または旋盤を使用して、シャフト組を軸受けとともにモーター取付フランジから外す(傾けずに外す)。
- モーターフランジから前部軸受けを外すために、3本のボルトをアーレンキーで緩めて外す。その後、支持リングを取り外し、軸受け引抜き器を使って前部軸受けを外す。
- 後部モーターカバー(標付け！)の4本のボルトを緩めて、後部モーターカバーをステーターから外す。波形座金を軸受ハウジングから取り出す。
- 必要に応じて、後部軸受けも軸受け引抜き器を使ってシャフトから取り外す。
- ステーター、ローターおよび軸受ハウジングを十分に掃除する。
- 軸受ハウジングの摩耗の有無を点検する。



- 組立(分解)中には、ステーター巻線を傷めないようにご注意ください。
- 再組立の前に、どの部品も清浄で腐食や錆が無いことを確かめてください。

注意

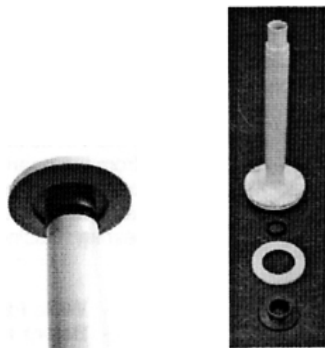
モーター(とモーター部品)およびポンプ本体は、必ず元通りの構成に再組立する必要があります。再組立の前に、部品の標を整理しておいてください(前頁参照)。

注意**モーター**

- ローターに支持リングを取り付け、新しい軸受けを組み付ける。
- ポンプシャフトを前部モーターカバー内に挿入し、支持板の3本のボルトをアーレンキーで締める。
- モーターフランジに新しい封止ガスケットを載せる。このとき、古いガスケットの残骸を完全に取り除く。
- 後部モーターカバーをステータに取り付ける(ガスケット！)。この組立体を、ファンスタブシャフト受容用の逃げ穴を設けた平面の上に置く。
- 波形座金を後部軸受け用キャビティ内に慎重に取り付ける(ねじ回し使用)。
- 前部モーターカバーをポンプシャフトとともにステーターに取り付ける(適正な組み付けを示すための標にご注意ください)。このとき、後部軸受けが後部軸受ハウジング内に正しく嵌るようにする。
- シャフトの回転が良好であることと、軸端遊びが0.03mm未満であることを確認する。
- シールリップ付のゴムシールをモーターフランジに取り付ける。このとき、少量のグリスを塗る。

ポンプ本体

- ポンプインペラーをポンプ本体内部に取り付け、保護板を固定する。
- 冷却ファンスタブシャフトを利用してモーターを垂直に万力に設置する。
- モーターおよびシャフトにポンプ本体を取り付ける。ポンプ吐出チューブが接続箱の反対側に位置するようにポンプ本体を回す。
- ポンプインペラーをポンプシャフト(雌ねじ)に固定する。後部インペラ側と渦形室との間の隙間(4mm。4mmアーレンキーで確認)が十分であるとともに、前部インペラ羽根と吸込カバーとの間の隙間(1.5mm)が十分であることを確認する。インペラの回転が自在であることを確認する。
- 吸込カバーと漉し器を組み付ける。
- モーターノポンプ組立体を万力から外して、元の姿勢に回し戻す。- 8組のボルトと座金を対角線状に締めいき、全てを確実に締める(締め過ぎないこと)。
- ゴムシールに少量のグリスを塗り、ゴムシールをシャフト上の元の位置に取り付ける。このとき、リップシールが後部モータカバーの方向を向くようにゴムシールを取り付ける。
- 冷却ファンを取り付ける(備えがあれば、割ピンで固定する)。最後に、モーターファンカバーを取り付ける。
- 作業を進める前に、モーターを短時間スイッチオンして回転が良好であることを再確認する。



ベーパーロック装置の取り付け

- ポンプハウジングを作業台に直立させる。
- ポンプハウジングの上に平坦Pリングを置き、その上にベーパーロックリングを上下逆様に置く。
- インペラーのシャフト側にVリングを置く。このとき、(Vリングのフラップがモーター側を向いて組み付けられるように)組み付け位置に注意する。



ポンプの正しい回転方向を確かめてから、ポンプを処理液中に再設置してください(手順7の設置を参照!!!)。

注意

11. 機械に関する規定準拠の EEC 宣言

(指令 89/392/EEC, Annex II, sub A)

製造者: ヘンダーボンペン株式会社

住所: P.O Box 9, 5530 AA Bladel (NL)

Leemskuilen 15, 5531 NK Bladel (NL)

(www.hendor.com Email: info@hendor.com)

本製品は下記の事項を満たしていることをここに宣言する:

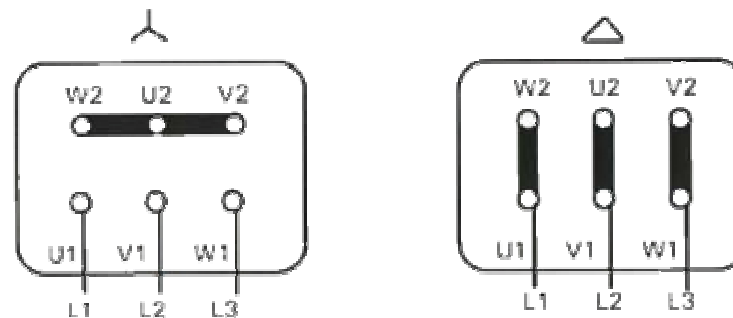
- 補正後の機械に関する指令の規定と各国の実施法令とに準拠していること。(指令 89/392/EEC)
- 下記の EEC 指令の規定に準拠していること。
- 低電圧指令 (指令 73/23/EEC)

ブラデル (Bladel) にて確認

テクニカルディレクター H.F.G. ボーン

12. モータ配線

3 相



单相

